

東北被災者親子と犬山の子供の自然交流事業報告書



楽田地区での事前宿泊交流事業

平成25年8月3日(土)～4日(日)

東北被災者親子と犬山の子供の交流事業

平成25年11月3日(日)～4日(祝・月)

特定非営利活動法人 犬山市民活動支援センターの会

事業のねらい

独立行政法人福祉医療機構の助成金を得て、事業を実施するにあたり、東日本大震災で愛知県へ避難してきている世帯が530世帯、1300人の人たちがいることを知って、何か事業にできないかを考えました。

まず第1段階として、犬山市の南の楽田地区には外国籍の住民が多くいます。その子ども達と地元の子ども達が交流する事業を展開しながら、11月に「東日本大震災で愛知県へ避難してきている親子と犬山の子供の自然体験交流事業」を実施したいと考えました。楽田での宿泊交流事業は、あくまで11月の事前宿泊交流事業との位置づけで、11月を成功させるために、8月に子どもたち同士の交流事業を計画しました。その参加者が11月の事業に参加してくれたら11月の宿泊交流がうまくいくのではという発想です。

この二つの事業報告をさせていただきます。

特定非営利活動法人 犬山市民活動支援センターの会 理事長 川島紀之

楽田地区での事前宿泊交流事業



東北避難者親子と犬山の子供の交流事業



楽田地区での事前宿泊交流事業

平成25年8月3日(土)～4日(日)に、楽田ふれあいセンターで、犬山の子供と日本に住んでいる外国のお友達と一緒に『世界中でシェイクハンド！届け世界に、被災地へ！』のテーマで開催しました。

この事業は、NPO法人犬山市民活動支援センターの会(略称：犬山しみんていの会)が主催ですが、地域連携事業として楽田地区で外国籍の子ども達の学習支援を行っている「NPO法人シェイクハンズ」と地元のコミュニティ組織「楽田地区コミュニティ推進協議会」の協力を得て実施しました。

犬山及び周辺の子ども49人、外国籍の子ども11人、体験コーナー等のボランティア45人の参加者で見事に宿泊交流が行うことができました。

<活動プログラム>

8月3日(土)

子ども達は6人程度班分けし、班で行動する

- 1 オープニング式 9:30
- 2 子ども防災教室 10:00
犬山市防災コーディネーターの会にお願い(お話とゲーム)
- 3 防災めし(昼食) 12:00
- 4 楽田の夏祭りへ参加 13:00
地震体験車に乗車体験、夏祭りに参加して、いろんなブースで体験活動
- 5 ものづくり体験とグッズ作り 16:00
ペルーの踊り、手品体験、お抹茶体験、竹の水鉄砲づくり、折り紙、パステル画づくり、太鼓体験、南米風ストーンペイントづくり、ペルー・中国・ブラジル・日本の海苔巻体験等
- 6 夕食 18:00
世界で一番長〜い海苔巻に挑戦、料理体験で作ったものを食べる
- 7 ワールドねぶた制作 19:00
みんなで協力して作り上げる
- 8 就寝 21:30

8月4日(日)

- 1 起床 7:00
朝起きヨガ
- 2 伝統ある「尾張富士の石上げ祭り」に出発 8:15
*尾張富士は、隣の本宮山より低いので、それより高くしようと住民が石を上げて高くしたいと上げていたのがお祭りになった。近郷の町、企業、各

種団体が石を上げるようになった。

*子ども達は、小さな石を持ち、神社のお祓いを受けて頂上を目指し、頂上に石を置いてきました。

- 3 楽田ふれあいセンターに帰着、
「流しソーメン」で昼食 13:00
- 4 お別れセレモニー 14:00
*みんなで手をつなぎお別れ・・・

<アンケート結果>

1 事業全体について

とても楽しかった 100%

2 体験したもので楽しかったもの

*地震体験車100% *パステル画100% *お茶の体験100%
*石上げ祭り91.6% *手品91.6% *水鉄砲83.3%
*防災教室83.3% *たいこ体験83.3%

3 一番楽しかったもの

*地震体験車16.7パーセント *水鉄砲16.7% *世界の料理作り8.3%
*太鼓体験8.3% *パステル画8.3% *お茶体験8.3%

4 二日間で友達できましたか

*できた96.7%

5 来年も開催されたら参加しますか

*ぜひ参加したい66.7% *参加する予定8.3% *わからない25.5%
*参加しない0%

<子どもの声>

- ☆ みんなと宿泊でき楽しかった。来年も参加したい。
- ☆ 石上げ祭りは、石は小さいのを持っていたけど、急な坂で大変だったけど、頂上にあがった時はうれしかった。
- ☆ 地震体験車は、はじめてだったので、怖かったけど楽しかった。
- ☆ 石上げ祭りの後のソーメン流しは最高でした。

<連携団体 シェイクハンズ 松本里美>

☆ みんなが楽しんでもらったので、とても良かった。いろんな体験の場を用意してくれたボランティアの人たちに、感謝です。

<連携団体 楽田地区コミュニティ推進協議会 原会長>

☆ 楽田の夏祭りに忙殺されてうまく協力できなかったけど、夏祭りの「地震体験車」の貸切りとか、他の夏祭りでの体験活動の場を提供でき、良かったです。

防災教室



楽田夏まつり



ものづくり体験



ワールドねぶた制作



尾張富士の石上げ祭り



流しソーメン



東北避難者親子と犬山の子供の交流事業

この事業は、当会に関わりの深い10団体の人達で、11月3日(日)4日(祝・月)二日間の活動プログラムを立てることから始めました。6月から8月の3回で活動プログラムの内容を決めて、募集チラシを9月初めには関係者に配布したいと考えました。愛知県内の避難者には、愛知県被災者支援センターを通じて募集チラシを配布していただけることが判明しました。犬山市内は小学校を通じて配布してもらい、犬山周辺の市町には、公共施設、NPOへ募集チラシを配布・掲示をお願いしました。

愛知県被災者支援センター関係者の人から宿泊は難しいのではという意見も聞いていましたので、とても心配しました。しかも11月では夜は相当寒いのでなおさらです。テントで宿泊してもらおう予定でした。寝袋も必要です。貸し出しも少しは用意しました。でも犬山の子ども50人(親7人)、避難者親子14人(親6人)が参加してくれることになり、一応所期の目標に近い人が集まってくれることになりました。

1 アンケート結果

- ★全体の感想を着たところ、「とても楽しかった」70%、「楽しかった」30%
- ★参加したプログラムの感想は、「とても楽しかった」83%、「楽しかった」15%
- ★熱気球の感想、「とても感動した」100%
- ★史蹟名所めぐりの感想は、「とてもよかった」93%、「良かった」7%
- ★来年も参加しますか? 「ぜひ参加したい」43%、「参加したい」40%

2 活動プログラム

11月3日(日)

- | | | |
|---|---------------------------|-------------|
| 1 | セレモニー | 10:00~ |
| 2 | 活動プログラム | 10:20~15:00 |
| | (1)「どろんこ芋ほり・おしゃれスイーツ」 | 17人(親6人) |
| | (2)「くねくね 竹パンづくり」 | 11人(親1人) |
| | (3)「魚を釣って たべるぞ!」 | 13人(親1人) |
| | (4)「くりすアドベンチャー トレッキング」 | 4人(親1人) |
| | (5)「ワールドアドベンチャー スパイダーマン!」 | 16人(親3人) |
| ★ | 昼の休憩時間「変わった綱引き」 | |
| ★ | 昼食「ふる里レストラン」東北「ひつつめ汁」 | |
| 3 | 夜のプログラム | 15:30~ |
| | ゲーム・火を囲んで | |
| ★ | 夕食「ふる里レストラン」 | 17:00 |

11月4日(祝日・月)

活動プログラム

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1 「熱気球」 | 6 : 3 0 ~ 7 : 3 0 |
| ★朝 食 「ふる里レストラン」 | |
| 2 「くりす名所史跡めぐり」 | 1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0 |
| ★昼 食 「ふる里レストラン」 | |
| 3 「解散セレモニー」 | 1 2 : 3 0 ~ |

<子どもの声>

犬山の子ども

- ☆ 芋ほりとスイーツづくりが最高に楽しかった。
- ☆ くねくね竹パンづくりでは、竹に巻きつけるのが大変だったけど、焼けたパンはとてもおいしかった。
- ☆ 魚を釣って食べようは、魚が釣れた時は飛び上がった。腹を出し焼いた魚は結構おいしかった。
- ☆ トレッキングは、長い距離を歩いた。頂上はとても気持ち良かった。
- ☆ スパイダーマンは作っているときは長かったけど、遊びだしたらいつまでも遊びたかった。
- ☆ 熱気球は、初めてで最初はビビったけど、空に上がった時は最高に気分でした。
- ☆ 熱気球は、最高に楽しかった。

<避難者の子ども>

- ☆ 二日間はゆったりでき、とても楽しい日でした。また、みんなと遊べてうれしかった。
- ☆ 竹パンは、竹に生地を巻きつけるのが難しかったけど、焼けたパンはとてもおいしく感じた。
- ☆ 芋ほりは楽しかった。つるに一杯ついていた。スイーツは最高でした。
- ☆ 熱気球は、最初こわかったけど、空中にゆっくり上がっていくときはとても感動した。

<避難者の親>

- ☆ 子どもがのびのび遊んでいたのが嬉しかった。
- ☆ 犬山が好きになりました。またゆっくり来たいです。
- ☆ 犬山の自然と人が温かく、楽しい二日間でした。

<実行委員長 西尾晴孝>

- ☆ 皆がけがもなく、楽しんでくれたのが最高にうれしいです。熱気球も上げることができよかったです。来年もぜひ実施したい。東日本避難者の人たちが喜んでくれていたので、本当に嬉しいです。

<NPO犬山しみんていの会理事長 川島紀之>

本当にこの事業ができ、最高の気分です。東日本の避難者が来てくれるか心配でしたが、しかも寒い中での宿泊交流でしたので、心配でした。犬山の自然の中で避難者親子がゆっくり過ごすことができたと喜んでます。この事業の助成先であるWAMの方々にも前向きな理解をいただき本当にありがとうございました。この事業のスタッフ。ボランティアの方々には心より感謝申し上げます。ありがとう。

<ふる里レストラン運営責任者 松本里美>

100人からの4食分の料理指導は大変でした。が、子ども達をはじめ多くの人たちの協力により見事にみんなにおいしく食べていただけ最高の喜びです。

どろんこ芋ほり・おしゃれスイーツ



くねくね 竹パンづくり



魚を釣って たべるぞ！



くりすアドベンチャー トレッキング



ワールドアドベンチャー スパイダーマン！



昼の休憩時間「変わった綱引き」



「熱気球」



「くりす名所史跡めぐり」

